

1. 学歴

- 1999年 3月 東京大学農学部国際開発農学専修卒業
2003年 4月 大阪大学大学院経済学研究科経済学専攻博士前期課程入学
2005年 3月 大阪大学大学院経済学研究科経済学専攻博士前期課程修了
2005年 4月 大阪大学大学院経済学研究科経済学専攻博士後期課程進学
2008年 9月 大阪大学大学院経済学研究科経済学専攻博士後期課程単位取得退学
2009年 3月 大阪大学博士(経済学)学位取得

2. 職歴・研究歴

- 2008年 10月 国立大学法人大阪大学グローバル COE 特任研究員
2009年 4月 一橋大学大学院経済学研究科講師

3. 学内教育活動

A. 担当講義名

(a) 学部学生向け

基礎マクロ経済学

C. 講義およびゼミナールの指導方針

学生の自主性を重視する。

4. 主な研究テーマ

(1) 経済成長, 経済発展に関する研究

技術進歩, 人口成長, 消費の習慣形成, および, 教育水準などに注目して, 経済成長に関する理論的な研究を行っている。研究成果として5編の査読つき論文を発表している。

(2) 時間非整合的な選好に関する研究

研究プロジェクト(「経済成長モデルにおける時間非整合的な選好の役割」, および「異質的な時間選好率を持つ個人から構成されるマクロモデルの構築と政策分析」)をとおして, 時間非整合的な選好を持つ個人の消費・貯蓄行動について理論的な研究を行っている。

5. 研究活動

A. 業績

(a) 著書・編著

「技術進歩と人口成長 出生率は低すぎるか?」二神孝一氏(大阪大学)との共著, 津谷典子・樋口美雄編『人口減少と日本経済—労働・年金・医療制度のゆくえ』第6章, 日本経済新聞出版社, 2009年。

(b) 論文(査読つき論文には*)

- * "Inequality and growth: the roles of life expectancy and relative consumption". *Journal of Economics*, 96, 19-40. (2009) 単著
- * "The Effects of Consumption Externalities in An Innovation-Driven Growth Model". *Economics Bulletin*, 29, 1414-1423. (2009) 単著
- * "Technological Progress and Population Growth: Do we have too few children?". *Japanese Economic Review*, 61, 64-84. (2010) 二神孝一氏(大阪大学)との共著
- * "Educational Gender Inequality and Inverted U-Shaped Fertility Dynamics". Forthcoming in *Japanese Economic Review*. (2009) 単著
- * "The Effects of Consumption Externalities in an R&D-Based Growth Model with Endogenous Skilled and Unskilled Labor Supply". Forthcoming in *Journal of Economics*. (2010) 単著

B. 最近の研究活動

(a) 国内外学会発表(基調報告・招待講演には*)

- "Evolution of Attitude toward Marriage and Family Structure"(単著)Workshop in Macroeconomic Dynamics 2006(Australian National University) 2006年8月4日
- "Evolution of Attitude toward Marriage and Family Structure"(単著)日本経済学会 2006年度秋季大会(大阪市立大学) 2006年10月22日
- "Divorce, Unemployment and Search Frictions"(二神幸一氏,五十嵐直子氏との共著)若手経済学者のためのマクロ経済学コンファレンス(千里阪急ホテル) 2007年3月5日
- "Women's Role in Development"(単著)夏の合同研究会(北海道大学) 2007年8月4日
- "Effects of Income Inequality and Demand Structure in an R&D-based Growth Model"(単著)理論・計量経済学セミナー(大阪府立大学) 2007年10月4日
- "Effects of Income Inequality and Demand Structure in an R&D-based Growth Model"(単著)京都大学都市経済学ワークショップ(京都大学) 2007年11月16日
- "Effects of Income Inequality and Demand Structure in an R&D-based Growth Model"(単著)地域科学セミナー(名古屋大学) 2007年12月21日
- "An Innovation-Driven Growth Model with Habit Formations"(単著)研究会「サーチ理論の応用とマクロ経済学」(九州産業大学) 2008年3月15日
- "An Innovation-Driven Growth Model with Habit Formations"(単著)関西マクロ経済研究会(大阪大学中之島センター) 2008年4月11日
- "Effects of Income Inequality and Demand Structure in an R&D-based Growth Model"(単著)日本経済学会 2008年度春季大会ポスターセッション(東北大学) 2008年5月31日 - 6月1日
- "Wealth Distribution, Engel Curve and Innovation-Driven Growth"(単著)ARISH-NUPRI 経済学ワークショップ(日本大学) 2008年6月5日
- "Educational Gender Inequality and Inverted U-Shaped Fertility Dynamics"(単著)ポリシー・モデリング・ワークショップ(政策研究大学院大学) 2008年7月22日
- "Age-specific and Society-wide Habit Formations in an Overlapping Generations Model"(単著)第1回冬季マクロ経済学研究会プログラム(財団法人東京経済研究センター) 2009年3月1日
- "時間選好率と時間非整合性に関する研究"(二神孝一氏との共同研究)待兼山セミナー(大阪大学) 2009年

6月4日

"A Non-Unitary Discount Rate Model"(二神孝一氏との共同研究)夏の合同研究会(小樽商科大学) 2009年
8月7日

"A Non-Unitary Discount Rate Model"(二神孝一氏との共同研究)関西マクロ経済学研究会(京都大学)
2009年11月6日

"A Non-Unitary Discount Rate Model"(二神孝一氏との共同研究)六甲フォーラム(神戸大学) 2009年11月
20日

"A Non-Unitary Discount Rate Model"(二神孝一氏との共同研究)九州大学 2009年12月22日

"A Non-Unitary Discount Rate Model"(二神孝一氏との共同研究)「時間と選択の経済学」ワークショップ(北ビ
ワコホテルグラツィエ) 2010年2月14日

"A Non-Unitary Discount Rate Model"(二神孝一氏との共同研究)Winter Institute 2010(琵琶湖リゾートクラ
ブ) 2010年2月28日

"Procrastination and Preproperation"(二神孝一氏との共同研究)関西マクロ経済学研究会(大阪大学中之島
センター) 2010年11月5日

(b) 国内研究プロジェクト

「経済成長モデルにおける時間非整合的選好の役割」文部省科学研究費補助金, 研究活動スタート支援,
2009 - 2010年度, 代表者

「異質的な時間選好率を持つ個人から構成されるマクロモデルの構築と政策分析」文部省科学研究費補助金,
基盤研究(C), 2010 - 2012年度, 分担者

7. 学外活動

(b) 所属学会および学術活動

日本経済学会